

みなとっふ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2017年3月
Vol.32

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台



発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっふ編集室

<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>

CONTENTS

- 2 地域に生きる建築
聖心女子学院デュシェーン ホール
- 3 この街にこの人あり
くに かね りん せん
國兼凜仙さん (高輪在住)
- 4 5 地域のおしあと
高輪地区の公園、児童公園
- 6 地域で活躍する子どもたち
第83回NHK全国
学校音楽コンクールで
白金小学校が銀賞受賞
- 6 地域の自慢
緑の達人たち つるバラの家
- 7 みなとっふ子ども編集室
- 8 区からのお知らせ



港区に暮らして

1973(昭和48)年、結婚を機に私たち夫婦は南青山一丁目にある団地に住み始め、以来、現在の住所地白金二丁目まで40数年間港区で暮らしています。

共働きの私たちの職場がともに霞が関だったため、職場に比較的近いということと住環境が良さそうだったのが、当初南青山に決めた理由でした。

その頃の南青山は高層ビルもまばらで、現在はツインタワービルが建つ交差点の周辺には、八百屋さんなど商店が点在していました。近くにはスーパーもあって、便利で住みやすいところでした。とりわけ、団地や近隣の人たちとの親しい交流が、住みやすさに輪をかけていたように思います。

近くの保育園に通う二人の息子たちも、折に触れ手を差し伸べてくれる人たちに助けられ育っていきました。

その後、仕事の都合もあり六本木一丁目に転居、子どもたちは近くの区立小学校に転校しました。そこでは転校生を温かく迎え入れる風潮が根づいていることにホッとしたものです。

やがて社会人となった子どもたちが巣立っていくころになると、六本木一丁目の周辺は大きく変わり、次々とマンションや商業ビルが建ち並ぶようになりました。

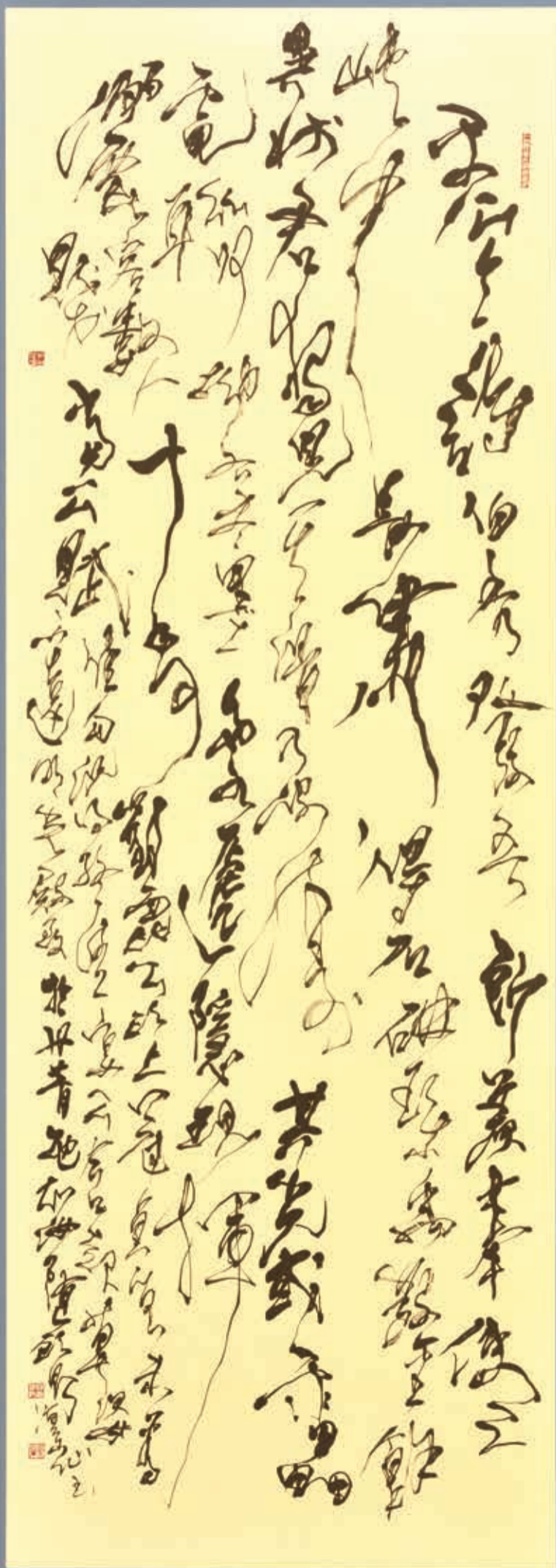
私たち夫婦の定年後の住まいを何処にするか迷っている時、当時、仙台に赴任していた長男の「港区は住みやすい」のひとことが決め手になりました。彼は港区で生まれ育ち、社会人となって地方に赴任するようになると、彼にとってのふるさとしてある港区の住みよさを痛感しているといえます。

2001(平成13)年、定年を迎えた私たちは白金二丁目に移り住みました。引っ越した当初、駅の周辺にあった商店や工場は新設のビルに吸収されていきました。

整然と整備された駅周辺を離れると、昔ながらの下町情緒が残る商店街があり、そこには旧知のように接してくれる温かい人々とのふれあいがありました。

一方で、周辺には由緒ある寺や神社が多いことから、緑に囲まれた静かな環境にも恵まれ、都心の利便性と快適な環境に加え、人情味あふれる人々との交流が魅力ある地域を作っていると感じています。いつまでもこの地に住み続けたいと思っています。

(担当/吉田)



くに かね りん せん
國兼 凜仙さん (高輪在住)

詩題/石研詩 作者/杜甫 五言古詩
平公今詩伯 秀發吾所羨 奉使三峽中 長嘯得石研 巨璞禹鑿餘 異狀君獨見 其滑乃波濤 其光或雷電 聯坳各盡墨 多水遞隱現
揮灑容數人 十手可對面 比公頭上冠 貞質未為賤 當公賦佳句 況得終清宴 公含起草姿 不遠明光殿 致於丹青地 知汝隨顧眄

地域に生きる建築 聖心女子学院デュシェーンホール (白金4-11-1)

2008(平成20)年に建てられたデュシェーンホールは、著名な建築家安藤忠雄氏により設計されたものです。聖心女子学院の児童・生徒たちに愛されている建物とうかがい、お訪ねしました。教頭の鎮目穂先生にご案内いただきました。

■ 建設の経緯

聖心女子学院は2008年に創立100周年を迎えて、学院をREFOUNDING(再創立)するための一環として3つの計画を行いました。それは、①初等科棟の改修と増室、②多目的小ホールの新築、③プール棟と第2体育館の改修とその周辺の空間を憩いの場所として使えるようなプロムナードの整備、の3つです。

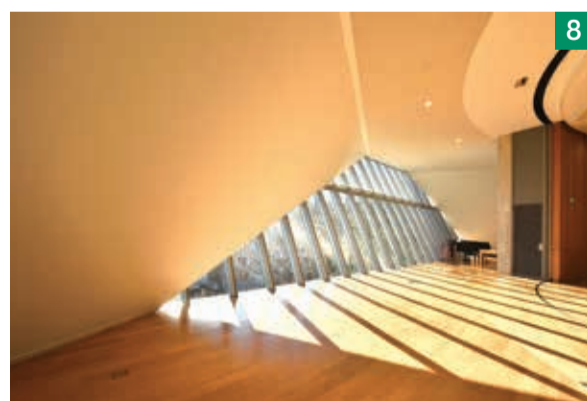
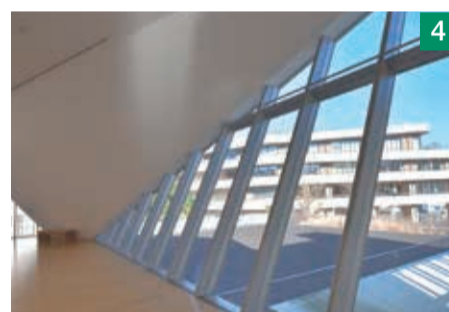
その1つであるこの多目的小ホールは鉄筋コンクリート3階建て、延面積1,018㎡、約250名収容の建物で、児童・生徒の学年の集い、宗教行事、研修会、保護者会、小音楽会の利用のために建設されました。19世紀後半に北アメリカの開拓地で宣教した聖心会会員、聖フィリピン・デュシェーンにちなんで「デュシェーンホール」と名付けられました。

■ 建物のコンセプト

「共に祈り、学び、思索する場」として、多目的に利用できるように考えられています。豊かな自然を背景に、緑に浮かぶ「空中円形ホール」をイメージしてつくられています。

■ 狭い敷地を生かした計画

このホールはプール棟と第2体育館との間に挟まれた狭い敷地を巧みに生かした平面となっています。プール棟、体育館、ホールが重なり合うようになっており、プール棟の屋根はウッドデッキのテラスとし、ホールの屋外空間として利用されています。



6 3階円形ホール内部 間仕切り壁が開けられホワイエと外の景色が見える
7 モザイクタイルで描かれた聖フィリピン・デュシェーン
8 ホール舞台後方のホワイエ
9 打ち放しコンクリートがきれいに仕上げられた2階教室の外側廊下



1 ホール外観 左側のプール棟と右側屋内体育館の間に巧みに建てられている
2 外の緑が見える2階廊下部分
3 プール棟屋上よりホールを見る
4 外側に向かって傾斜するガラスのあるホワイエ
5 上から見たデュシェーンホール

画像 ©2017 Google.
地図データ ©2017 Google, ZENRIN

■ 複雑な形態の外観と円形のホール

1,2階は円形で3階は八角形の平面と四角形の屋根で構成される多面体であり、複雑な形態となっています。3階のホワイエ(ホール外側の空間)の外側に向かって傾斜する4つのガラス面からは、東西南北、緑豊かな構内の景色が楽しめます。3階ホールは完全な円形で、リブ状の木材で覆われているので、中に入ると一体感を感じます。東側の壁の一部は天井まで達する可動式の建具となっており、建具を開けると、ホワイエ、ガラス越しに外の光景が目飛び込んできます。3階ホワイエからプール屋上のテラスにでることができます。

1,2階は教室などがあり、安藤忠雄氏デザインの特徴であるきれいな打ち放しコンクリートで仕上げられています。ところどころに、宗教画が飾られています。

■ 建物の利用について

講演会や学年行事、ミサ、保護者会などに多く利用されています。生徒たちのクラブ活動にも利用されることがあります。

利用されている生徒たちの感想は、「温かみのある空間です」、「ホワイエは、扉を閉めるとホールと隔てられるはずなのに、ホール内の空気が伝わってくる不思議な空間です」とのこと。鎮目先生も四季の光の美しさが感じられる素晴らしい建築だと感じているとのこと。年一度位イベントなどで地域の人たちとの交流の場にならないでしょうかという記者の質問に、今後検討していけるとよいと思っていますとのことのお答えでした。

この街にこの人あり

書家 國兼 凛仙さん

「書」が自分の世界を表現する手段となりました

線の流れ、リズムそして空間など、美しさを追求する「書」。どのように生み出されるのでしょうか？書家 國兼凛仙さんからお話をうかがいました。

この度は第38回東京書作展内閣総理大臣賞・東京書作展大賞おめでとうございます。今回の作品を紹介していただけませんか

今回の作品は漢字部門での出品で多数作品です。

最大寸法（縦2m5cm横70cm）のシルクに行書と草書を交えて躍動感をだすように書きました。書を再開してずっと目指していた賞なので受賞できてとても光栄です。**この作品はどのような構想で書かれましたか**

前回、東京新聞賞を受賞した後、次の作品の構想を練りました。

杜甫の「硯」について書かれている漢詩が、自分に理解しやすいので選びました。また、自分が好きな字が多く入っており、作品をどのように表現するか詩文を読みながらイメージすることができま

した。黒い部分と白い部分のバランスを意識して字を配置し、余白の持つ美しさにも十分配慮しています。

このような大きな書道の作品はどのような手順で書くのですか

まず、書道字典をもとに、詩文の漢字を一つひとつ行書、草書とも調べます。

次に、紙のサイズを縮小したものにデッサンします。そのデッサンをもとに、実際の紙に筆で書きます。1枚を書くには、休まず一気に書き上げます。

何百枚、何千枚と書いてその中から選ぶこととなります。一日、15時間も中腰の姿勢で書く時もあるので、腰が痛くなることもあり、とても体力がいります。

書道の道具について教えてください

墨の種類はかなり沢山あります。受賞した作品はシルクなので、濃いめの墨液を使用して、線の太い細い、美しいかすれをだし立体感ができるようにしました。

筆は常時数本用意しています。筆は永く使いたいので丁寧な使い方が大切だと思います。筆を洗うときは、時間をかけ

気を使って洗います。

紙と墨と筆を上手に使って表現すると、書道の世界が広がってくると思います。

小さい頃から書を習い始めたきっかけはどんなことでしたか

小学生になって、書、ピアノ、水泳などいろいろな習い事を同時に始めました。

1年生の時、書でいきなり賞をいただいたので、次第にのめりこんでいきました。父も母も特に書が得意ではなかったのに、不思議ですね。

高校2年生まで書を書き続けたのはなぜですか

書道教室に通っていました。福島県教育会館が主催する書初め展で、小学校6年生から高校2年生まで6年連続で大賞を受賞しました。また、席書（一定時間内で書き上げる）の部の全国大会で受賞しました。

29歳で、書を再開したのはなぜですか

社会人になり食品メーカーの営業部門で働いていました。慌ただしく時間がすぎる日々の中、本当に自分が好きなことは何かと今一度見つめなおした結果、筆を持つて書を書くことだと気がつきました。

東京書作展に出展されたのは、どのような理由ですか

東京書作展は作風が比較的自由で、最終審査（討論審査）も公開しているのので、審査員の率直な意見が直接聞けるので挑戦してみようと思いました。

最終審査（討論審査）での審査員の方々の講評を参考に、次の作品に取り組みました。

書を書き続けて、よかった点はどんなことでしたか

自分の世界を表現する手段となりました。また、これまで、展覧会や書作展を目指して長時間書き込み、集中力と忍耐

力を学びました。書を通して気の合う仲間もできました。

さらに、受賞をすることでその経歴、経験が自分の強みとなりました。

最近、大作を書かれたそうですが、どんな風に書かれましたか

横の長さが12m60cm、縦が2m40cmの大作に挑戦しました。

広いスタジオで90cm×2m40cmの紙を14枚並べて書きました。プロモーションビデオの撮影もあり、一気に書き上げました。とにかく紙は大きく、字も大きな字とやや小さな字があるので全体の配置のバランスを掴むのが大変でした。体力も必要で疲れます。



大作に挑む國兼さん



内閣総理大臣賞受賞作品を前に

書でこれからどのような道を目指していますか

自分の書作の幅を広げていきたいと思っています。そのためにも古典の臨書（先人の名跡を手本に、よくみて習うこと）に励み、見る目を養っていききたいです。

また、近い将来書道教室を開き、書の楽しさ、私が書を通して経験してきたことを子どもたちに伝えたいと思っています。**福島県のご出身ですが、高輪地区にお住まいになって何年になりますか。また、高輪地区についてどのような感じになりますか**

大学の時に上京し、結婚して高輪地区に住み4年になります。景観がよく静かな落ち着いた住宅地でとても気に入っています。

地下鉄やバスなど交通の便もよく、スーパー、コンビニ、商店街も近くにあるので、生活するのに不自由なく過ごせています。ずっとこの静かな環境が続いてほしいと願っています。

取材を終えて

書を始め15年以上、やっと手にした大賞も次のステージへのスタート地点だとおっしゃっています。今後、どんな道を歩まれるか楽しみです。

（担当／安藤、松島、土屋、太田、滝川、本城、森）



【プロフィール】(雅号) 國兼 凛仙 (くにかね りんせん)

1983年生まれ。

●書歴：小学校1年生から高校2年生まで書を習う。29歳で書を再開、現在に至る。

●受賞歴：小学校6年生から高校2年生まで6年連続で福島県書初め展にて大賞受賞。その他全国大会にて受賞多数。東京書作展にて内閣総理大臣賞、特選1回、東京新聞賞1回、優秀賞4回、奨励賞3回、入選5回（東京書作展は2013年から出品）。日本教育書道芸術院同人書作展会長賞（大賞）受賞（2016）。

① 高松くすのき公園 (高輪1-5-44)

■開園までの経緯

この公園の敷地は江戸時代、細川家の屋敷の一部であり、明治時代から1945(昭和20)年まで高松宮邸の一部であった。戦後は、児童遊園(通称げじげじ山公園)及び宮内庁宿舎として利用されていた。2010(平成22)年、港区から宮内庁宿舎用地を既存の児童遊園と一体化して大きな公園にしようという案が提示された。そこで、地域の方々が参加して半年間ワークショップを行い、計画案を練っていった。ワークショップにより得た結論は「戸建て住宅地に接する場所は静かに過ごせるゾーンとする」、「防犯上、夜間は閉鎖する」、「敷地の境界などは隣接する住宅とよく協議し、住宅のプライバシー確保に配慮する」、「質の高いデザインとする」などの点であった。名称も住民の公募により決められた。2013(平成25)年4月に開園した。



シンボルツリーのくすのきと子どもが遊ぶゾーン



手入れの行き届いた花壇(大人が静かに過ごせるゾーン)



ウッドデッキとベンチ(大人が静かに過ごせるゾーン)

■複雑な地形や既存の樹木を生かす

公園は「大人が静かに過ごせるゾーン」、「子どもが遊ぶゾーン」、「それらを結ぶ中間ゾーン」の3つに分けられている。地形が複雑で高台の平地の部分を利用され、斜面地などはそのまま残されている。既存の樹木はできるだけ保存され、樹齢の高い大きな木が多く見られる。

■大人も子どもも楽しめる公園に

大人が静かに過ごせるゾーンはいつも花がきれいに植えられ、ウッドデッキやベンチがあり、大人が休息や散歩を楽しめる公園となっている。3月は特に梅の花や河津桜がきれいである。子どもが遊ぶゾーンは既存の児童遊園を充実整備し、近くの保育園や子ども中高生プラザの子ども達に利用されている。樹齢400年の大きなくすのきがシンボルツリーとなっている。防災用トイレやかまどベンチが置かれ、防災上の配慮がされている。2014(平成26)年には、近くの町会の主催で防災訓練と懇親会が開かれた。



梅の花がきれい

地域のおしあと

地域の憩いの場

高輪地区の公園、児童遊園

高輪地区には25の公園(児童遊園)があります。それぞれに歴史(生い立ち)があり、地域の方が深く関わっています。草木が芽生え、花が咲き始める季節です。皆さん、公園(児童遊園)に出掛けてみませんか!



② 亀塚公園 (三田4-16-20)

伊血子交差点から聖坂方面へ向かうと亀塚公園がある。この公園付近は、かつては房総の山々を一望に見晴らす場所、月の岬と呼ばれる景色の良い場所であった。江戸時代には上野沼田藩土岐家の下屋敷、明治維新後は皇族華頂宮邸、内大臣官邸であったが、1945(昭和20)年の戦災で昔の姿はなくなり、1952(昭和27)年12月に港区立公園として開園した。

■歴史が感じられる高輪地区で一番大きい公園

公園の北側には子どもの遊具設備や亀塚、南側にはみどりのプロジェクトで植えられた樹木が多い広場、東側には傾斜地の樹木部分があり第一京浜国道に繋がる。総面積9,183㎡と高輪地区で一番大きな公園である。亀塚は、これまでの調査で古墳時代以後の築造と考えられるが、内部構造が不明で古墳と断定できないと言われている。また、「更級日記」に記される竹芝寺の伝説地とも伝えられている。文明年間(1469~87年)には太田道灌が斥候(ものみ)を置いたと言われ、頂上には沼田城主土岐頼頼の亀山碑がある。

■タンポポの群生場所

公園の東側にはタンポポ群生場所があり、関東地方にもともとあり今は少なくなった「カントウタンポポ」と西日本に多くあった「シロバナタンポポ」の在来種の保存に努めている。毎年4月中旬には約2週間開放され、身近に観察することが出来る。



納涼夏祭りのスイカ割り



かまどベンチの訓練時と平常時のベンチ

■公園は地域活動の発信地

この公園では三田台町会が中心となって様々な行事が行われている。春には園内の桜が咲き誇り多くの人が集まり、夏休みになると、早朝ラジオ体操が行われ、納涼夏祭りでは多くの子どもたちがすいか割りなどを楽しむ。公園内にはかまどベンチや災害用トイレが設置されており、秋にはそれらを使用して、町会、区、学校が一体となった防災訓練が行われる。日常的に行われているアドプト活動(道路や花壇の植替え、水やり手入れのボランティア活動)も町会が中心となり、美しい公園作りに力を注いでいる。



南側から見た公園全景



亀塚の登り口



公園北側の遊具

③ 白金台どんぐり児童遊園 (白金台5-19-1)

目黒通り沿いに国立自然教育園に隣接して約6,100㎡の白金台どんぐり児童遊園がある。この付近は、江戸時代の讃岐高松藩松平家の下屋敷、明治時代から大正時代の海軍・陸軍省の管理地、その後一部が朝香宮邸(現東京都庭園美術館)となり1947(昭和22)年まで利用された。戦後は、自然保護を目的とした自然教育園や白金迎賓館(旧朝香宮邸)、公務員宿舎などとなり、その後、国が当該地を処分することになった。区は自然環境保全への配慮、子どもたちが気楽に遊べる場、そして地域住民が憩いふれあう地域コミュニティの場となる児童遊園用地として、地域の方々とワークショップ方式による話し合いを行い、2006(平成18)年4月に開園した。



東側から見た児童遊園



朝のラジオ体操

■児童遊園の朝はラジオ体操から

年間を通して、毎朝6時30分には30~50人が集まり、夏休みには、近所の町会連合の「夏休みラジオ体操」があり、多い時には300人を超える子ども、大人がラジオ体操を行う。日中は保育園児のお遊び、親子連れ、高齢者の散歩、近隣で働いている人の休憩などで賑わう。

■自然あふれる憩いの場

この児童遊園の特徴は樹木や草木の多さと自然教育園からも飛んでくる何種類もの鳥たちである。約90種類250本の樹木が植えられ、毎年、梅の花から始まり沈丁花が香り、春は5種類の桜、藤、紫陽花など一年中楽しめる。公園内には3つの花壇があり、どんぐりの会、NPO法人テクノシップ、アイランドインターナショナルの皆さんがアドプト活動をしている。

■年間を通し、いろいろな催しが!

どんぐりの会(地元町会中心の会)に話を聞くと、この会では年3回行っている「ころころ市」の運営など児童遊園での活動に積極的に参加している。「ころころ市」では子どもの遊び場、地域の方によるフリーマーケット、東日本大震災で被害にあった福島県浪江町や地域の方の出店そして防災コーナーなどもある。毎週月曜日にはパトロール小屋に集まり新たなコミュニティ作りも行われている。この公園では他に夏休みの映画会、打ち水大作戦、秋のワンパクまつり、プラチナヒルズフェスティバルや地域防災活動などがあり近隣の町会、商店会などが主催して行われている。



子ども遊び場



打ち水大作戦

高輪地区 桜の公園

4 雷神山児童遊園 (白金6-5-10)

平安時代に疫病平癒のために雷神社が建てられ、以降この場所が雷神山と呼ばれ、1950(昭和25)年11月に990㎡の児童遊園として開園した。白金北里通りの南斜面にあり、春にはソメイヨシノ26本が児童遊園一杯に咲き、地元町会合同の桜まつりも行われる。

5 白金児童遊園 (白金台2-24-3)

高輪台駅から白金台方向に入ると通称「猿町公園」と呼ばれる1,746㎡の児童遊園がある。他の公園にはない「土管」遊具を始め、工夫が凝らされた遊具が多くあり、子どもたちに親しまれている。桜の時期には児童遊園一杯に30本の桜の花が被い、遠方からでも猿町公園の存在が確認できる。



6 白金台四丁目児童遊園 (白金台4-4-14)

目黒通り日吉坂上東側にある432㎡の児童遊園である。住宅地にある小さな児童遊園で、わずか3本の桜だが近隣の方や散歩がてらの方が静かに楽しんでいる。

7 亀塚公園 (三田4-16-20)

古墳や広場一面に34本の桜の木があり、桜まつりには東日本大震災以後交流のある茨城県鉾田市からの復興協力店もあり、多くの人で大変賑わう。



地域で活躍する 子どもたち

第83回NHK全国学校音楽コンクールで 白金小学校が銀賞受賞

昨年7月の東京都予選を皮切りに東京都大会、関東甲信越大会を金賞で通過し、10月の全国大会で見事銀賞を受賞した白金小学校合唱団の練習の様子取材しました。



心と身体を使って合唱練習

えっこれが合唱練習？

白金小学校合唱団の活動は、平常は毎朝始業前に行います。練習の始まりは先生の伴奏に合わせて相手の背中や肩をトントンしたり、向かい合って相手のおなかを押ししたりしながら歌い、まるで体操教室か演劇のようです。

先生は伴奏しながら矢継ぎ早に、質問や注意をします。

「か」と「た」の発声の違いは？

「せつない」と「悲しい」の違いは？

(歌詞の)「僕たち」の表現が冷たいよ！

生徒たちは先生の指導に即座に応えていきます。

丸山久代先生は「合唱は、皆で心合わせて一つの歌を創り上げるもの。合唱を通じて生きていく力を身につけさせる事を目的にやっています。発声練習だけではないのです。目的に応じて、また相手のことを考えて行動できるかを大切にしているのです。」と言われます。

●5年生の二人と丸山先生にインタビューをしました

合唱の練習で心がけていることは？

生徒:丸山先生は、「礼儀を大切に!」と言われます。歌を表現する時にはこの曲の登場人物をイメージして歌うことをしました。この曲に出てくる道化師や貴婦人などをイメージし、道化師の動きもやってみました。登場



練習の始まりの準備体操です

人物の気持ちになることが大切です。そのために、丸山先生からの夏休みの宿題でルノアール展と国立科学博物館を観に行きました。

自由曲は同声合唱曲集「世界はつながりながら回っている」より「踊るミュージアム」でしたが、なぜこの曲を？

先生:今のメンバーの年齢を考慮して発達状態に合ったものを選びます。合唱の力を使って出来るものもありますので、今の能力より少し上のもの、また歌詞も内容に共感できるものを選びます。私が選んだ曲を子どもたちに何曲か提示して、一緒に決めました。

全国大会での銀賞は素晴らしいですね

生徒:銀賞は2位なので金賞を取りたかった。でも今は、先生や親たちが支えて下さったお陰なので、銀賞も嬉しいという気持ちに変わりました。それに地域の沢山の人たちにも「おめでとう」と声をかけられ嬉しかったです。

合唱の練習で得たものは何でしょう

生徒:みんなで心をつなげて歌うことができるようになり、パートの中の重要な一人という責任感が持てるようになりました。そして、一緒に銀賞受賞という思い出が出来ました。



インタビューに答えていただいた、5年生の二人と丸山先生

■取材を終えて

「学校教育の中の合唱ですから、練習では生活指導上のことを考えながら指導しています。」と言われた丸山先生。取材中、先生の言葉が子どもたちに伝わっている姿を見ることが出来ました。笑顔で私たちを迎えてくれた子どもたちの心こもった挨拶に元気をいただきました。

(担当/本城、土屋、太田、若生)

地域の自慢

緑の達人たち

街で見かける美しく手入れされた花や緑。どんな方がお世話しているのでしょうか?そんな植物を上手に育てている緑の達人たち。今回は白金台にお住まいの澤田比佐子さんにお話を伺いました。



玄関アーチに仕立てた樹齢17年のイングリッシュローズ(ヘリテージ)

壁面に這わせつつあるバラが、5月の始めから咲き始めその数なんと2000輪以上!満開時、周囲は素晴らしい香りに包まれます。この美しいバラを育てているのは、「庭もないし、バラを育てるのはあきらめていた」という澤田比佐子さんです。

はじめは玄関のバラから

当時からバラを育てていた妹が、「庭がなくとも大丈夫」と背中を押してくれ、このバラの栽培を始めました。「手をかければかけただけ応えてくれる」、バラ栽培の面白さに目覚め、つるバラをメインとした庭づくりを始めました。

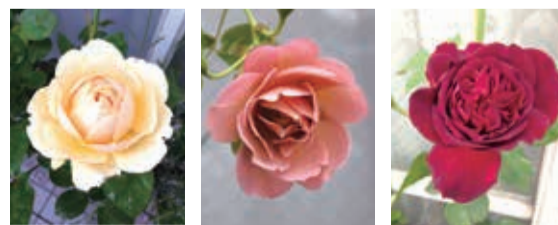
寒風にも負けず…

つるを壁に這わせる作業(誘引)は、花のない冬、主人と全体をイメージしながら行います。強風で固定する紐が切れてしまい、やり直すことも。丈夫な品種でもあり、病害虫対策の薬剤などは散布していません。

こまめな管理が大事です

主に2階のベランダで育てている鉢植えのバラたち。

花の時期に玄関先に下ろしてきます。水やりが欠かせない季節は、家を空けにくくなります。



ベランダで育てている鉢植え3種(左からシャルロット、ピノッキオ、フランシスデュプリユイ)

細やかな心遣いはバラ以外へも

手はいつも棘で傷だらけ。日焼けし放題です。バラ選びの基準は、香りが良いこと、そして通学する小学生のため棘が少ないことです。花びらがたくさん散る時期は、一日に3~4回掃除しま



南西の角一面を覆う樹齢15年のスパニッシュビューティ



す。また、通行人に実が落ちないように、高枝切ばさみで花がらを摘みます。足を止めてくれた方とお話するのも楽しみの一つです。これからいろいろなバラを育てていきたいですね。

バラ栽培のワンポイントアドバイス

バラは伸びた枝に花を咲かせるので、種類にもよりますが、花を咲かせたい位置を決めて思い切って剪定することが大切です。

※バラの見ごろは5月初旬からです。花や枝に勝手に触れないようにしましょう。

(担当/佐藤、安藤、戸部田)

みなとっふ子ども編集室



昨年11月12日に開催された「あっぷリング高輪フェスティバル」、みなとっふ子ども編集室から11人の子ども記者たちが出動！今回は4つのグループに分かれて、ボランティアスタッフのサポートのもと取材しました。一人ひとりが実際に見て感じたものやインタビューなどを通して発見したものを、記者として分かりやすく記事にまとめてくれています。好奇心に溢れる子ども記者たちが伝えてくれるフェスティバル当日の様子をぜひご覧ください！

ピエロが風船をかんせいするのが早かった。

クジラが大きくてすごいでした。ピエロのくつ下とくつの色がちがくておもしろかったです。今日は風船がもらえてよかったです。



おりおり

わたしはようぶくやぬのは、みしんやはりてぬうのでおりものでようぶくやぬのができるのかなとおもいました。おりおろてからきいてみたら、ようぶくやぬのなるといっていたのでびっくりしました。いきよきにいたんの上のところにキーンとくぐらいのすこくながりのかがかっていたので、びっくりしました。



●鈴木 恵梨記者(小2)、田上 愛記者(小2)、前田 珠希記者(小1)

おがみ作りになうせん!!

わたしは、わいわいまつりのしぎいをしました。そこで、おがみ作りになうせんしました。わたしはピカチュウと、ポッチャマを作りました。おがみを作るのもひさしぶりだし、おがみに色をぬるのははじめてでした。なので、ドキドキしました。だけど、うまくいったのでうれしかったです。またやりたい!



おとうロボットたいけん

11月12日はわいわいまつりです。子ども記者がわいわいまつりを又さぎいしました。是名のとおりゴミを使いルンバでゴミをすいていきます。ルンバはケム器でうごかします。ほくま、それにびくくしました。またこのたいけんができてよかったです。



分光器を使えばかんたんに見えそう?



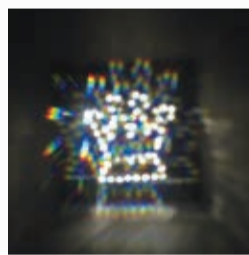
11月12日(わいわいまつり)では色々のイベントが開かれましたが特に面白かったイベントが東海大学が開いた、分光器を作るイベントです。分光器とは光を分解して色で見えたりするものです。



●伊藤 光紀記者(小4)、紙谷 凜記者(小3)、長坂 瑚子記者(小3)

にじのはこ

にじのはこはこはこは、光りをあてるとにじ色にはこの中が光ります。かいつとうフィルムがはいっているからです。ちゅういは太やうの光りで見ないようにしてください。ぜひやってみてください。



★ あんぜんだー! ★

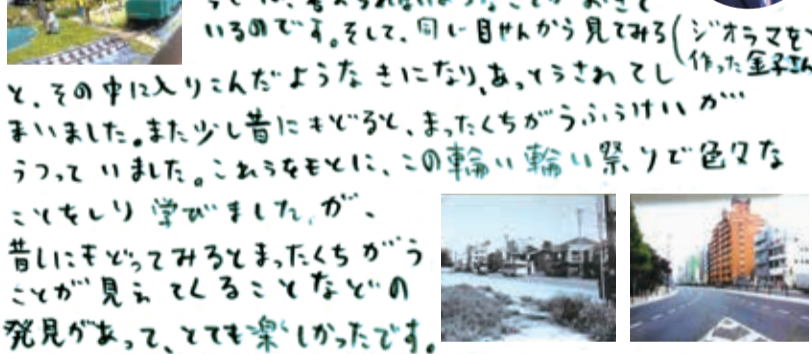
わたしが「どうしたらうまくじてん車にのれるんですか?」といったら、しゅっぱつのときからバランスをとってまっすぐになるようにします。あんていよくして、じてん車とじてん車は同じです。マナーとルールをまもります。と書いてました。わたしは、じてん車をこぐときはきをつけようと思いました。(じてん車シミュレーター)



●有川 由紀美記者(小2)、尾辻 佑記者(小2)

昔にもどってみると...

ほくは、このジオラマを見ておどろきました。なまならば、今とちがいますからです。今では、考えられないようなことがあてているのです。そして、同じ目線から見てみる(ジオラマを)と、その中に入りこんだようなきになり、あ、とらされてしまいました。また少し昔にきくと、またくちがうふうけいがかうつていました。こまらも、この車輪、輪、繋りど色々なこまらり学がました、が、昔にもどってみると、またくちがうこまら見えたりすることなどの発見があて、とても楽しかったです。



自転車気分でルールを学ぼう!

自転車をこぎながら画像を見ることにより本当に町でいっているような感覚を味わえます。また、注意する点があると教えてくれるので、ルールを知ることできます。



実際に、自転車をこぐことにより、ゲーム感覚でルールを知ることができたのでよかったです。



●長坂 俐玖記者(小5)、久木 春花記者(小5)、本杉 友乃記者(小5)

安藤 編集長 子ども記者のみなさん、取材して記事をまとめる楽しさを体験しましたか?一方、思っていたより難しかったこともありますね。**から一言** 難しかったことを大切に考えることがさらにより記事を書くステップになると思います。



区からのお知らせ

タウンミーティングTAKANAWA 2017メンバー募集!!

支所で実施している事業に携わり、メンバーと一緒に考え、活動してみませんか。

- 対象 高輪地区に在住・在勤・在学の人、または高輪地区のために活動したい人
内容 タウンミーティングTAKANAWAのメンバーとしてそれぞれのテーマに沿って高輪地区で活動していただきます。
任期 1年間(平成29年4月~平成30年3月)

第1回会議

- 日程 平成29年4月7日(金) 午後6時30分~
場所 高輪区民センター 1階集会室

※合同の会議後に各グループに分かれます。



募集グループ

Table with 4 columns: グループ名, 活動内容, 募集人数, 活動の頻度. Rows include 地域情報紙グループ, 高輪今昔物語グループ, 高輪みどりを育むプロジェクトチーム.

※報酬・交通費・取材費等の支給はありません。 ※会議の際に保育を希望する方は、ご相談ください。

申込方法 希望するグループ名・住所・氏名・年齢・性別・職業(学校名)・電話番号・FAX番号・メールアドレスを明記し、郵送またはFAXで下記へ。

締切 平成29年3月24日(金)必着

【あて先・問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 〒108-8581 港区高輪1-16-25 TEL:03-5421-7123 FAX:03-5421-7626

高輪地区版計画書の見直しに向けて、提言式が3月24日(金)午後6時30分から港区役所9階で開催されます。

平成29年度高輪地区防災ボランティア育成事業 防災ボランティア養成講座募集

地域防災力向上のため、高輪地区在住者及び高輪地区内大学の学生を対象に、災害時ボランティアに必要とされる講座及び訓練を高輪地区内の大学と連携し講義形式で実施します。

- 申込期間 平成29年4月14日(金)~5月10日(水)
申込方法 申込用紙に必要事項を記入のうえ各大学窓口又は高輪地区総合支所協働推進課へ提出
申込要件 北里大学、東海大学、明治学院大学の学生、又は高輪地区在住で防災や地域活動に意欲のある人
定員 20名程度(選考)
開講日 平成29年5月27日(土)
受講期間 5月~7月(4日間程度) 9月~11月(4日間程度)
学習内容 防災講座・応急救護・地域との交流体験・防災士資格取得
学習施設 各大学・港区施設等
費用 無料(全講座の7割以上の出席で防災士研修講座を無料で受講できます。)

※詳細は港区ホームページや広報みなとに掲載する予定です。(4月)

【問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 TEL:03-5421-7621

港区政70周年記念 (高輪地区)植樹式を実施しました

港区は平成29年3月15日(水)に区政70周年を迎えます。

高輪地区では、これを記念し、今後の100周年を見据え、地域の発展・繁栄の願いを込め、高輪地区とゆかりや交流のある4自治体から代表する木の寄贈を受け、去る2月25日(土)と3月4日(土)に、地区内の公園、児童遊園に植樹しました。



植樹式の様子

Table with 3 columns: ゆかりの自治体, 樹種, 植樹場所. Rows include 熊本県熊本市, 兵庫県赤穂市, 山形県庄内町, 茨城県鉾田市.

【問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 TEL:03-5421-7621

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。 みなとつづ バックナンバー

編集だより

聖心女子学院デューシエンホールを見て、建築デザインが人に与える影響の大きさを再認識しました。
公園にはいろいろな方が関わり今の姿があります。皆でこの環境を守りたいものです。
子ども編集室に参加して、子どもたちの自由な発想で作成された記事に素晴らしい未来を垣間見た気がして、頼もしさを感じました。

区民編集メンバー

- 安藤 洋一(チーフ) 梶 昌夫 本城 光子
太田 則義(サブチーフ) 佐藤 雅子 松島 佐紀子
吉田 由紀子(サブチーフ) 滝川 まりえ 森 裕子
明石 美穂子 土屋 伊夫 若生 愛香
阿部 はるか 戸部 和織
伊関 則子 中込 有香

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。

事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係

5421-7612 / 保健福祉係

5421-7085